

第2回（仮称）大阪依存症対策センター基本計画作成及び 機能企画検討業務に係る公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日時及び場所

日時：令和8年5月15日（金曜日）12時15分から18時30分

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）大会議室2

2 審査方法

あらかじめ定められた審査基準（企画提案公募要領に記載）に基づき、公募参加資格適合者について、標記選定委員会にかかる6名の委員により、プレゼンテーション審査を実施し、総合評価点の合計が採択基準点（60点）を上回る最高得点の提案事業者を最優秀提案事業者として選定した。

3 最優秀提案事業者

事業者	評価点	価格点
博報堂グループ・乃村工藝社共同企業体	75.5点	9.5点（359,975,000円）

4 選定結果の概要

（1）提案事業者 全5者（受付順）

- A 大日本印刷株式会社
- B 博報堂グループ・乃村工藝社共同企業体
- C NTT西日本グループ及びNTTアド及びデザインアーク共同企業体
- D NTTデータ経営研究所・NTTドコモビジネス共同企業体
- E 大阪依存症対策センター推進共同企業体

（2）提案事業者の評価点（得点順）

順位	得点
1	75.5点（価格点 9.5点 提案金額 359,975,000円）
2	75.0点（価格点 9.5点 提案金額 359,969,500円）
3	74.2点（価格点 10点 提案金額 341,000,000円）
4	73.5点（価格点 9.7点 提案金額 350,013,400円）
5	64.5点（価格点 9.5点 提案金額 359,700,000円）

(3) 最優秀提案事業者の選定理由及び講評

- 求めた仕様に応えられており、また実証実験や生成 AI などにおいて新規性のある提案があった。実行体制も十分なものであった。共同事業体として、各々の担当でない部分も含め、責任をもって遂行いただきたい。
- 提案の一部について、カジュアルな印象を与える可能性があるため、そのバランス等を大阪府と協議いただきたい。
- システムについては、次年度以降にかかる時間等も考慮し進めていただきたい。
- 普及啓発について、依存症に至るまでの背景や要因等にも広く目を向け、理解を深めながら、業務を実施いただきたい。

(4) 選定委員会委員（敬称略、○印は議長）

所属・職名等	氏 名	選任理由
久里浜医療センター 名誉院長 全国依存症対策センター長	松下 幸生	久里浜医療センターにおいて依存症治療に携わっている経験から依存症対策における情報の真正性、適格性を審査いただくため。
大阪府精神科病院協会 会長	長尾 喜一郎 (○)	大阪府の依存症対策に精通しており、大阪府の実績に即した提案かどうか審査いただくため。
株式会社 バスコム 代表取締役	楠本 淳	広報分野の専門家として、広告・広報、プロモーションに関して審査いただくため。
近畿大学 経営学部 教授	布施 匡章	事業運営や自治体の情報化、実証分析の専門家として、プロジェクト全体の運営やデジタルを活用した企画検討に関して審査いただくため。
大坂公立大学大学院 情報学研究科 教授	宮本 貴朗	情報学の専門家として、情報セキュリティや情報ネットワークの観点から審査いただくため。
大阪弁護士会（長野総合法律事務所） 弁護士	崎原 卓	法律知識に精通しており、提案内容が法的に問題なく、円滑に実施できるかという観点から審査いただくため。